

# 図書波だより

第 68 号

平成14年3月31日  
愛媛大学附属図書館

## 目 次

図書館の役割と情報化社会 …………… 1	附属図書館委員会 …………… 8
図書館システムの更新について …………… 3	図書館日誌（会議，研修）…………… 8
愛媛大学附属図書館概要 2002 発行 ……… 4	
学生希望図書 …………… 5	新入生の方へ!!
「松高文庫」への寄贈図書 その6 …………… 6	—図書館を利用するために—
愛媛大学記念文庫 …………… 7	平成14年度図書館オリエンテーションの
附属図書館の環境整備と学生モニター制度	お知らせ
の新設について …………… 8	

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

## 図書館の役割と情報化社会

平 出 耕 一

図書館と言ったとき思いつくことは、本や雑誌が置いてあるところというのはあたりまえのことであるが、その静寂さである。館内で必要な本を積んで調べものをしたり、あるいは興味に駆られて本を読み耽るとき、それに集中している間は気がつかないのだが、いったん周りを意識すると、その静けさに畏敬の念さえ感じるほどである。ページをめくる音やペンを動かす音が鋭敏に伝わってくるのである。この静寂の鋭敏さが精神を研ぎ澄ませる。他の人に同じようなイメージがあるか問いただしたことはないけれども、少なくとも私にとっては、図書館というのはそういうところで、こういった感覚を覚える場所は他にあまりないと思う。

現代の世界は情報の洪水である。おそらく電気を使いはじめたころから社会は次第に騒がしくなり、ラジオやテレビの普及にとともに

て、静けさというのが身の回りから削除されてきた。ごく最近では携帯電話の普及、インターネットの整備で、ありとあらゆる場所で人は情報の洪水の中に身を置き、それに中毒をおこしている状況にまで至ってきていると思われる。電車に乗ると、携帯電話を持って極めて早い動きでボタンが押されている光景をよく目にする。大学の研究室ではインターネットに接続された端末が置かれ、毎日の行動は、メールのチェックから始まる。研究に関連する情報を得るために、インターネットで国内や海外にあるデータベースにアクセスし検索する。それをもとに論文をインターネットで出版社のサイトからダウンロードし、端末の画面であるいはプリンターで出力して読んだりする。極めて便利な世の中になった感がある。この便利さはよほどのことがない限り一度覚えたらもう止められない。

最近、癒し系という言葉を知った。それが必要となったのは、多くの人が精神的に疲れているためだと思うが、単語として現れてきたのは、そうとう重症だと思う。私自身もこの世の中の流れとは独立に、流行の音楽ではない古典的な曲を聴くことに、一時没頭した経験がある。J.S.バッハのCDを買いあさって、暇さえあれば聴き入っていた。また、夜中に目が覚めたときモーツァルトの曲が流れていて、夜の静けさに浮き彫りにされたその曲の自然な響きから、「アマデウス」という映画にあったように天才だと合点した覚えがある。バッハもモーツァルトも電気が発見されて間もない頃の人たちである。その時代、例えば夜は静寂で、研ぎ澄まされた精神活動が出来る環境に、満ち溢れていたはずである。これと対比すると、情報の洪水の現代において、真に創造的で歴史に深く刻まれる内容の物を、生産できるのか疑問を感じる。あまりにも身の回りが騒がしいからである。

司馬遼太郎は授業中 not が読めず笑われて、そのため学校嫌いになり図書室に逃避したという話が、最近の新聞で紹介されていた。また、大江健三郎は図書室の本をすべて読んでしまい、読む本がなくなってしまったと聞いている。いずれも作家として大成した人たちである。作家というのはかなりの読書家だと思うが、そのような人の中でも創造的な仕事をする人という、かなり限られてくると思う。新しい概念を発見したり、新しい物を作り出すには、知識だけでなく既成のものを打ち破るために、膨大なエネルギーを必要とするからだ。このエネルギー源は人によって異なると思うが、研ぎ澄まされた精神活動をともなっているのは確かだろう。例えば、司馬遼太郎の場合は学校嫌いか戦争体験が、その活動の源となっているようである。

大学の先生というのも、小説を書くような作家ではないが、ある意味で物書きだと思っている。悪戦苦闘し苦悩の結果発見したものを、世に文章として発表するからである。昔、本を単に読みあさっていた頃と比較して、発

見しなければいけないという立場から世の中に氾濫している書物や文献をみると、これはすごいと思えるものはかなり少ない。ほとんど全てがしばらくすると消えて行く物ばかりである。現代は情報化社会と言われ、便利で昔に比べて比較にならないくらいの速度で、多くの物事が発展しているように思われがちであるが、ほんとうにそうなのか懐疑的である。コンピュータの性能は恐ろしいくらいの速さで進化しているが、真に創造的な仕事というのは、昔に比べて逆に少なくなって来ている気がしてならない。体験から言うと、コンピュータを利用して仕事をすると間違いを犯すことが多い。私に限らず周囲の何人かの同業者から同じようなことを聞いている。それは思い込みのようなものが働いて、正しいかどうかの確認を怠る傾向があるからだと思う。それで最近の研究活動は、以前と同じように紙と鉛筆を基本としている。

おそらく創造的な仕事をする人は、定期的に一定期間周囲から自分を隔離し、不便な世界に身を置く方法を身につけていると思う。情報化社会からの逃避である。フィールズ賞を受賞したある数学者はEメールもろくに使わない。煩わしいのである。集中できないということは、仕事の停滞を招く。要するに、本末転倒になってしまうからである。

図書館というのは、人類の遺産としての学術情報を蓄積し提供するという役割の他に、多くの人々に逃避でき没頭できる静寂な空間を提供するという役割があって、一昔前と比べてその役割の重要さは増していると思う。以前から図書館が情報化の最先端を走っていることに気が付いていた。これは図書館が世の中に発信できる膨大な量の情報を抱えているからごく自然な現象なのだが、このことと、社会の煩わしさを忘れさせるための十分な空間を同時に持ち合わせることは、矛盾しないし必要なことだと思う。

(ひらいで こういち 理学部数理科学科助教授)

## 図書館システムの更新について

平成14年2月1日に新システムが導入されました。

新システムでは、クライアントサーバ形式の分散処理システムで、図書館業務全般を処理しています。また、国立情報学研究所と接続して全国総合目録DBの構築やILLシステムにも参加しています。

新システムの導入にあわせ、総合情報処理センターのご厚意により23台の端末をレンタルとは別に借り受け、本館に13台、医学部及び農学部分館に各5台を利用者用端末として配置しています。

### 利用者用端末について

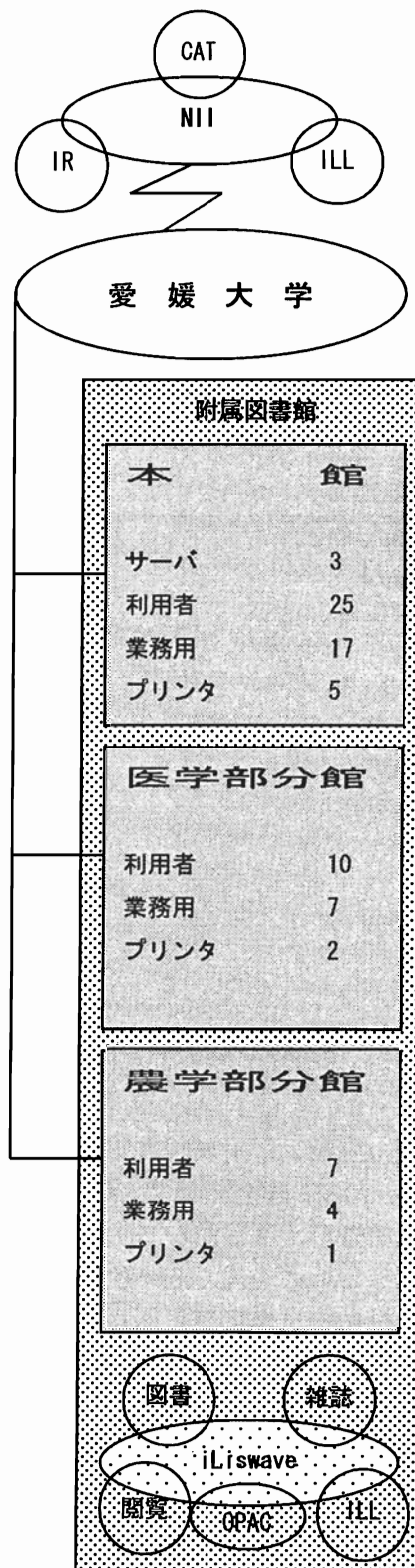
新システムでは、OPAC（目録検索）専用端末を本館に3台、医学部及び農学部分館に各2台用意しています。他の端末については、総合情報処理センターの利用資格（アカウント）を取得された方であれば自由に利用する事ができます。ただし、1回の利用可能時間を30分に制限しています。これは、長時間にわたる端末占有や、端末の利用終了操作を忘れた場合を考慮しての措置です。ご了承ください。

### 新システムでのサービスについて

新システムで提供できるサービスは次のとおりです。

- 1 OPAC（利用者用目録検索）
- 2 ILL（文献複写・貸借依頼）
- 3 利用者問い合わせ（貸出状況等）
- 4 貸出中図書の利用予約
- 5 購入希望図書の受付

以上のサービスをシステムの準備が完了したのから開始していきます。なお、開始時期や内容等については図書館ホームページ（<http://www.lib.ehime-u.ac.jp>）で順次紹介させていただきます。

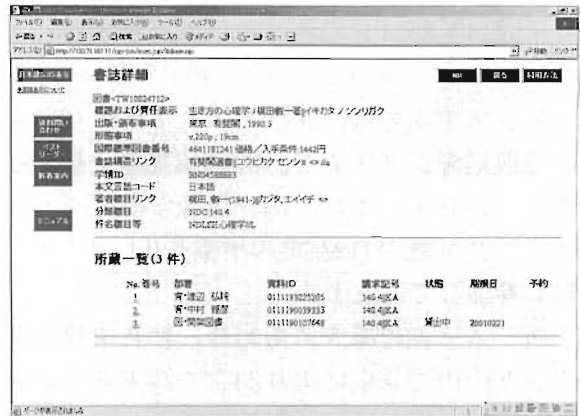


OPAC検索画面は以下のとおりです。

1. 検索画面



3. 書誌詳細画面



2. 書誌一覧画面



4. 所蔵詳細画面



愛媛大学附属図書館概要 2002 発行

2002年版の愛媛大学附属図書館概要が作成されました。沿革、歴代附属図書館長、組織、施設、図書館資料、図書館システム、ホームページ、サービスの現況、その他図書館の活動、附属図書館委員会委員、所在地・電話番号・位置図から構成されています。国際化に向けて英文併記をはじめて行い、コレクションについては主題だけでなく解題についても英文を併記しています。また、本概要は附属図書館ホームページでも公開されます。



## 学 生 希 望 図 書

平成13年度に学生から購入希望があった図書のうち、以下の図書を購入整理して、利用に供しています。図書館では、予算の範囲内で学生の希望に応じていますので、購入を希望する図書があれば、図書館ホームページ上の「学生希望図書申込」からオンラインで申し込むことができます。または、「希望図書申込書」に必要事項を記入し、本館は、1階カウンター、2階・3階のラウンジに設けている購入希望図書ポストに入れてください。医学部分館・農学部分館はカウンターに提出してください。

### 本 館

書 名	編 著 者	出版者	出版年	請求記号
固体惑星物質科学の基礎的手法と応用	武田弘[ほか]編	サイエンスハウス	1994	445/TA
泡宇宙論	池内了著	早川書房	1995	443.9/IK
解析力学 1-2	山本義隆, 中村孔一著	朝倉書店	1998	423.35/YA/1-2
非線形現象：時空間に繰り広げられるドラマ	森義仁, 中田聡共著	産業図書	1994	431.3/MO
Biogeography 2nd ed.	James H. Brown, Mark V. Lomolino	Sinauer Associates	1998	462/BR
憲法学 3 人権各論 増補版	芦部信喜著	有斐閣	2000	323.14/AS/3
Pulsed laser deposition of thin films	edited by Douglas B. Chrisey and Graham K. Hubler	J. Wiley	1994	549.8/PU
図解AutoCAD LT2000スタートアップガイド	村上良一著	翔泳社	2000	501.8/MU
Chemistry and our changing world 3rd ed.	Alan Sherman, Sharon J. Sherman	Prentice Hall	1992	430/SH
中国の科学と文明 第1巻 序篇 新版	ジョセフ・ニーダム[著] 礪波護[ほか]訳	思索社	1991	402.22/NE/1
生体分子の分析科学 1-2	吉岡正則, 中嶋暉躬編集	廣川書店	2000	433/YO/1-2
メタモルフォーズ	レイコ・クルック著	美術出版社	1997	771.8/KR

### 医学部分館

書 名	編 著 者	出版者	出版年	請求記号
医科細菌学 改訂第3版	吉川昌之介, 笹川千尋編集	南江堂	2001	491.7/IK
ビデオ顕微鏡：その基礎と活用法	Shinya Inoue, Kenneth R. Spring著；寺川進, 市江更治, 渡辺昭訳	共立出版	2001	535.83/IN

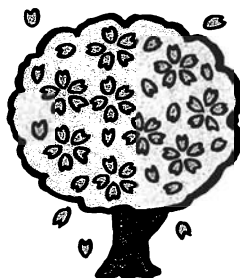
## 農学部分館

書名	編著者	出版者	出版年	請求記号
生命の意味：進化生態からみた教養の生物学	桑村哲生著	裳華房	2001	460/KU
統計的多重比較法の基礎	永田靖, 吉田道弘著	サイエンティスト社	1997	417/NA
地理野外調査のすすめ：小・中・高・大学の実践をとおして	篠原重則著	古今書院	2001	375.33/SI
幻の植物を追って	萩原樹徳著	講談社	2000	470.4/OG
イヌからネコから伝染(うつ)るんです	藤田紘一郎著	講談社	2000	493.8/HU
ゼオライトの科学と工学	小野嘉夫, 八嶋建明編	講談社	2000	459.6/ZE
20世紀最後の戯曲集	野田秀樹著	新潮社	2000	912.6/NO
Ecophysiology of coniferous forests	ed. by William K. Smith, Thomas M. Hinckley	Academic Press	1995	478.6/SM

### 「松高文庫」への寄贈図書 その6

「図書館だより」第60号(2000年3月31日発行)で紹介した後に、ご寄贈いただきました図書は下記のとおりです。(順不同、敬称略)

寄贈者	書名	編著者	出版者	出版年
合田 昌文 (24回文科2組)	中世合田氏ノ跡	合田昌文著	合田昌文	2000
坂梨 靖彦 (22回文科1組)	自衛隊これでいいのか：日本没落のシナリオ	坂梨靖彦著	元就出版社	2001
坂梨 靖彦 (22回文科1組)	生存と繁栄を求めて：世界史からの提言	坂梨靖彦著	協和協会出版部	1984
坂梨 靖彦 (22回文科1組)	防衛改革・二十一世紀への提言	坂梨靖彦著	クラウンエンタープライズ	1987
坂梨 靖彦 (22回文科1組)	異質国家・日本の戦略：新しい国際関係とこれからの安全保障	坂梨靖彦著	PHP研究所	1990
玉尾 佳宏 (29回文科乙類)	労働価値論を具体的に理解する	玉尾佳宏著	創風社	2001
野本 陸郎 (25回理科甲類1組)	数学百景 1-2	野本陸郎著	野本陸郎	2001
堀越 肇	しまなみを越えて：渡辺義晴先生追悼遺稿集	渡辺義晴先生追悼遺稿集刊行会編	法規文化出版社	2000



## 愛媛大学記念文庫

平成13年度に下記の先生方から著書をご寄贈いただきました。(順不同, 敬称略)

寄贈者	書名	編著者	出版者	出版年
渡辺 弘純	自分づくりの心理学：子どもたちに希望と体験と共生の場を	渡辺弘純著	ひとなる書房	2000
松本 長彦	現象学の根本諸問題 (ハイデッガー全集 第24巻 第2部門 講義(1919-44))	ハイデッガー [著] ；溝口競一[ほか]訳	創文社	2001
加藤 好文	スタインベックを読みなおす	有木恭子, 加藤好文編著	開文社出版	2001
中川聡七郎, 中村 勝, 垣生 俊夫	地域社会と流通システム	中川聡七郎, 中村 勝, 垣生俊夫編著	農林統計協会	2001
佐藤 公代	文化と心理学：比較文化心理学入門	D.マツモト著； 南雅彦, 佐藤公代 監訳	北大路書房	2001
松本 朗	円高・円安とバブル経済の研究	松本朗著	駿河台出版社	2001
小野 昇	The nitro group in organic synthesis (Organic nitro chemistry)	Noboru Ono	Wiley-VCH	2001
今村伊佐子	Shig : the true story of an American Kamikaze	Shigeo Imamura	American Literary Press	2001
田村 憲治	子規と古典文学	田村憲治著	創風社出版	2001
北原 鉄也	保守王国の政治：愛媛政治批評	北原鉄也著	創風社出版	1991
北原 鉄也	代議士とカネ：政治資金全国調査報告	佐々木毅 [ほか] 編著	朝日新聞社	1999
北原 鉄也	過疎地域のルネッサンス	橋本徹, 大森彌編著	ぎょうせい	1994
北原 鉄也	変化をどう説明するか：政治篇	水口憲人, 北原鉄 也, 久米郁男編著	木鐸社	2000
北原 鉄也	変化をどう説明するか：行政篇	水口憲人, 北原鉄 也, 真淵勝編著	木鐸社	2000
北原 鉄也	変化をどう説明するか：地方自治篇	水口憲人, 北原鉄 也, 秋月謙吾編著	木鐸社	2000
北原 鉄也	自治責任と地方行政改革 (自治総研叢書)	中邨章編著	敬文堂	2000
北原 鉄也	現代日本の都市計画	北原鉄也著	成文堂	1998
北原 鉄也	Reforming government : new concepts and practices in local public administration	エロパ地方行政 センター編	EROPA Local Government Center	1998
栗田 正秀	雑魚：俳句・短歌	栗田正秀著	つつじ会	2001
村上 嘉一	Global 21	村上嘉一著	村上嘉一	2001

## 附属図書館の環境整備と 学生モニター制度の新設について

大学から5か年計画で「教育環境改善経費」の予算配分を受け、初年度の平成13年度は、本館のカウンター等の更新とカーペットの敷設を行いました。平成14年度は、閲覧機の更新及びキャレルデスク等の整備を行う予定です。なお、当該環境整備の基本計画については図書館委員会で作成され、詳細及び実施については「教育環境改善経費のアカウンタビリティに関する懇談会」で効果的なものとなるよう検討し、図書館委員会等で報告しています。また、国立大学等施設緊急整備5か年計画に基づく本館の改修（平成16年度予定）と相まってさらに効果的な整備を行うことにしています。さらに広く学生の声をきいてアメニティーの向上等今後の環境改善に役立てるため学生モニター制度を新たに設けることにしています。



### 附属図書館委員会

#### 平成13年度第4回附属図書館委員会

日時 平成14年1月15日（火）15時00分～

場所 附属図書館視聴覚室

#### 議事

##### [報告事項]

1. 書庫の整備について
2. 分館近況報告
3. その他

##### [協議事項]

1. 電子ジャーナル利用負担金の共通的事業費化について
2. 平成15年度概算要求について
3. その他

#### 平成13年度 第5回附属図書館委員会

日時 平成14年3月15日（金）15時30分～

場所 附属図書館視聴覚室

#### 議事

##### [報告事項]

1. 平成14年度図書資料（大型コレクション）等の選定について
2. 要望書—電子ジャーナル利用負担金の共通的事業費化について—の提出について
3. 分館近況報告
4. その他

##### [協議事項]

1. 平成14年度事業計画について
2. その他

### 図書館日誌（会議、研修）

- 1月9日 講演会「SPARCと日本の学術コミュニケーション」（国立情報学研究所）  
図書館情報係長出席
- 1月15日 平成13年度第4回附属図書館委員会
- 1月17日 平成13年度国立大学附属図書館事務部長会議（山形大学）
- 2月5日 平成13年度第3回農学部分館運営委員会
- 2月8日 電子ジャーナル導入経費説明会（京都大学）情報管理課長出席
- 2月19日 平成13年度大学図書館等情報化支援会議（国立情報学研究所）図書館専門員出席
- 2月28日 NACSIS-CAT/ILL講習会担当者会議（国立情報学研究所）
- 3月1日 国立大学図書館協議会海外派遣選考委員会（愛媛大学）
- 3月15日 平成13年度附属図書館図書選定小委員会
- 3月15日 平成13年度第5回附属図書館委員会



## 新入生の方へ!! —図書館を利用するために—

### 図書館利用証

図書館を利用するには「図書館利用証」が必要です。「学生証」と「図書館利用証」が一体化されていますので、図書館を利用する場合は常に「学生証」を携帯してください。

### 図書館を利用するための参考ガイド

- 図書館利用案内
- 図書館ホームページ(インターネット)



### 開館時間

館別	曜日等			夏季及び 冬季休業中
	月曜日～ 金曜日	土曜日	休日及び 日曜日	月曜日～ 金曜日
本館	9:00～22:00	9:30～17:00	9:30～17:00	9:00～17:00
医学部分館	9:00～21:00	9:00～17:00	(休館)	9:00～21:00
農学部分館	9:00～20:00	9:00～13:00	(休館)	9:00～20:00

### 休館日

- ・開学記念日(11月11日)
- ・年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)
- ・夏季及び冬季休業中の土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日(本館, 農学部分館)
- ・日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日(医学部分館, 農学部分館)

### 図書の探し方

- ・書名, 著者名, 主題(分類番号)を手がかりに所在を探してください。
- ・OPAC(オンライン目録)で探してください。
- ・1988年3月以前に受け入れた図書はカード目録も探してください。



### 図書館資料と探し方の区分

図書館資料	内 容	探 し 方	※所在場所(本館)
図 書	単行本, 全集, 叢書, シリーズもの等	OPAC(パソコン) カード目録	開架閲覧室, 参考図書コーナー 書庫等 学部研究室
雑 誌	終期を定めず巻, 年を追って出版されるもの 雑誌, 学会誌, 大学紀要, 研究報告等	OPAC(パソコン)	学術雑誌コーナー 書庫等 学部研究室
そ の 他	ビデオ, 語学テープ, 音楽CD等の視聴覚資料	陳列戸棚を見る	陳列戸棚

※分館については「図書館利用案内」をご覧ください。

### 図書を借りる時は

#### 開架図書

2階・3階(分野によって異なる)の図書を自由に選んで、図書と図書館利用証を資料



サービス係カウンターに提出してください。

コンピュータで処理をして図書と返却日を記入したカードを渡します。

#### 書庫内図書

資料サービス係カウンター上の書庫内検索者記録簿に必要事項を記入し、筆記用具以外のものをロッカーに入れて書庫へ入ってください。図書を自由に選んで、資料サービス係カウンターで貸出の手続きをしてください。

分館では書庫もすべて開架式になっていますので、自由に利用することができます。

**学部研究室図書**

資料サービス係に相談してください。

**参考図書**

館外貸出はできません。図書館内で利用してください。

**貸出冊数と期間**

冊数は5冊まで、期間は2週間以内です。  
(期限までに返却しないと、遅れた日数分貸出禁止となるので注意してください。)

**図書を返す時は**

**開架図書**

図書を資料サービス係カウンターに提出してください。コンピュータで処理をして図書を渡します。返却棚に図書を置いてください。

**書庫内図書**

図書を資料サービス係カウンターに提出し学部名、学科名、氏名を告げてください。

**雑誌の場合は**

製本雑誌は館外貸出ができますが、未製本雑誌はできません。館内で利用してください。

**図書や雑誌が無い時は**

学術情報係に相談してください。

**図書館資料を複写したい時は**

1階のコピーコーナーに設置してあるリペードカード式もしくはコイン式の複写機が利用できます。

また、学術情報係カウンターでも文献複写申込を受け付けています。

**その他**

- ・利用について不明なことがありましたら、職員にお尋ねください。
- ・医学部分館と農学部分館では情報サービス係が担当しています。

## 平成14年度図書館オリエンテーションのお知らせ

図書館では下記の時間帯に新入生へのオリエンテーションを行います。

早く図書館の利用に慣れて上手に利用するためにも全員参加しましょう。

月 日	時間	対 象	場 所	内 容	備 考
4.9 (火)	11:00 } 11:10	全学生 (法文学部「夜間主コース」を除く)	愛媛県民文化会館 メインホール	新入生に対する図書館の概要に関する説明	
4.9 (火)	18:10 } 18:20	法文学部「夜間主コース」	法文学部	法文学部夜間主コース学生に対する図書館利用についての説明	4月11日にある時間は、その参加してください。
4.11 (木)	9:00 } 10:00	法文学部「昼間主コース」	共通教育棟 大講義室	図書館利用についての説明	図書館内1階～3階を自由に見学してください。指定された時間が都合の悪い方は、都合の良い時間に参加してください。
	10:00 } 11:00	工学部 機械工学科, 電気電子工学科, 環境建設工学科, 機能材料工学科			
	11:00 } 12:00	工学部 応用化学科, 情報工学科 農学部			
	13:00 } 14:00	教育学部 医学部			
	14:00 } 15:00	理学部			